

第6単元 ぼうグラフと表①

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて																																				
①	40 (各10)	① 2 ② まさる…18 ひろみ…14 ③ 2	知技 棒グラフの読み方を理解している。	1目盛りの大きさ（この問題では2分）をとらえてから、グラフを読む習慣をつけるようにする。																																				
②	50 (各5)	<table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th>しゅるい</th> <th>月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図かん</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>物語</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td></td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>科学</td> <td></td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>28</td> <td>26</td> <td>29</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table>	しゅるい	月	9月	10月	11月	合計	図かん					21	物語			6		19	科学		8			24	その他					19	合計		28	26	29	83	知技 二次元表に整理することができる。	それぞれの月の表を、1項目ずつ確認しながら記入するようにする。合計は、縦、横ともに83になっていることを確かめさせる。
しゅるい	月	9月	10月	11月	合計																																			
図かん					21																																			
物語			6		19																																			
科学		8			24																																			
その他					19																																			
合計		28	26	29	83																																			
③	10	(略)	知技 棒グラフに人数を表すことができる。	まず、1目盛りが1人であることを確認してから、15人を表す棒をかくようにする。																																				

第6単元 ぼうグラフと表②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	ア、ウ（順不同）	思判表 表と棒グラフを比較して、棒グラフの有用性や特徴をとらえている。	棒グラフに表すと、大きさが比べやすくなることを実感できるように、実際に比べてみるとよい。
②	記号…イ わけ…(例) やきそばが好きな人は、1組が5人で2組が6人だから。 (棒グラフを正しく読み取り説明できていれば正答。)	思判表 棒グラフを正しく読み取り、間違いとその理由を説明している。	2つのグラフは、1目盛りの大きさが違うことに気づかせ、グラフの表す数を正しく読み取らせる。棒の高さだけでは比較できないことを確かめさせる。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	3問	2問	1問以下

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容	3項目とも意欲的である。	3項目ともおおむね意欲的である。	どの項目も消極的である。